

# ノリ施肥試験 - V

中尾義房・中島 浩

## 葉面散布による野外施肥試験

前報<sup>1)</sup>において、好結果を得た硝酸塩による葉面散布について、本年度も引き続き試験を行った。

### 試験方法

試験地：藤津郡多良川地先

肥料散布期間：41年2月21日～2月25日（5日間）

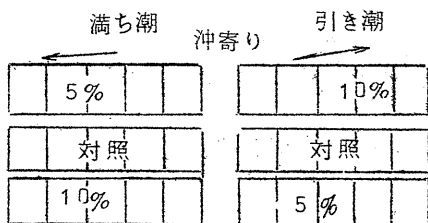
施肥方法：肥料液としては硝酸ナトリウム5%および10%液を用いた（水道水で調製）。対照には淡水（水道水）を散布した。網の配置は図に示すとおりである。施肥は干潮時に手動噴霧器で、網1枚当たり1.6ℓ散布した。ノリ標本は、事前および施肥終了後3日目に摘採し、葉体中の窒素分析は抄製後、試料をサリチル酸-硫酸により前処理<sup>2)</sup>して、マイクロキュールダール法によって分析した。また、品質は県検査規格によって評価した。

### 試験結果

表に示すように施肥前は黄緑色に色落ちした

施肥による品質および窒素の変化

2等のノリであったが、4日目頃から黒味が増



岸寄り

B（水位 1.8 m） A（水位 2.1 m）

網の配置図

試験区分	施肥前		施肥終了後3日目		
	等級	窒素量%	等級	窒素量%	
対照	A	2	3.21	上 2	4.94
	B			上 2	5.31
5%施肥	A			上 1	5.83
	B			上 1	6.00
10%施肥	A			上 1	5.28
	B			上 1	5.50

注：41年2月下旬ノリ平均価格

2等 12.51<sup>円</sup> 上2等 12.79<sup>円</sup> 上1等 14.28<sup>円</sup>

し、施肥区で色調の向上が認められた。それ以後は経過日数とともに対照区との色調差が大きくなり、施肥終了後3日目には1等級の差が現われた。しかし、肥料濃度の5%と10%を比較すると、その差異は認められなかった。対照も施肥前より半等級向上した。

施肥終了後3日目の葉体中の窒素量は、開始時よりもいずれも増加しているが対照区で1.73～2.10%、施肥区で2.07～2.79%と、施肥区の方が増加率が少し高い。

## 文 献

- 1) 佐賀県養殖試験場・1965・佐賀県養殖試験場報告 第3号
- 2) 植物栄養学実験編集委員会編・1961・植物栄養学実験